

今月の技術対策 (水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail : rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

畑作・園芸編も
HPで公開中!

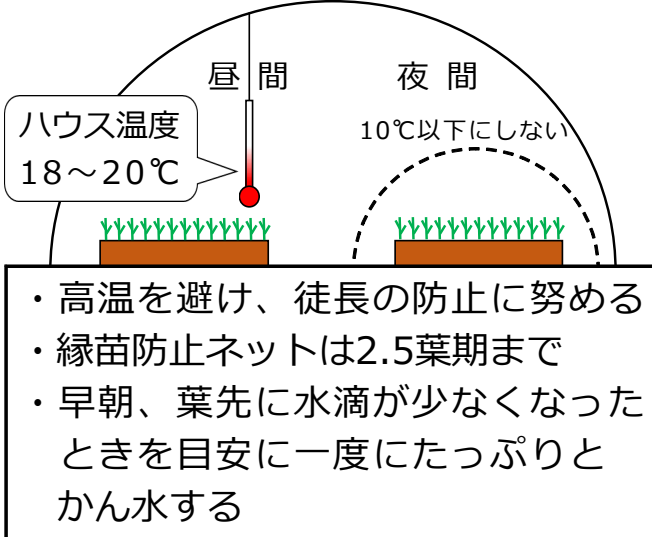
1 5月の気温

札幌管区気象台の3ヶ月予報（4月19日発表）によると、北海道地方における**5月の平均気温が高い確率は50%**です。苗が徒長、老化しないように注意しましょう。

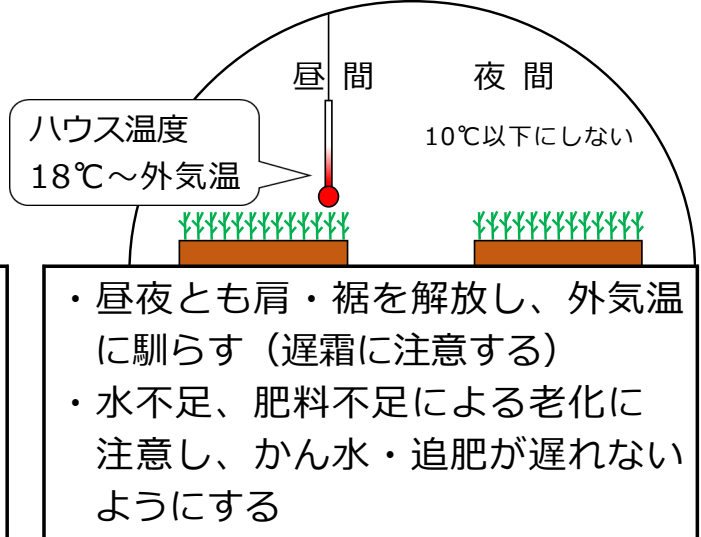
2 1.5葉期以降の育苗管理

(1) 育苗管理の概要

1.5葉～移植1週間前



移植1週間前～移植



(2) 追肥

ア 追肥は中苗で2回行い、成苗ポットでは原則必要ありません（表1）。

イ 目標葉数に達しても移植できない場合は、追肥を行い老化防止に努めましょう。

ウ 追肥後は肥料ヤケ防止のためかん水して下さい。

表1 育苗時追肥量（中苗マット） ※成苗ポットで追肥する場合は中苗マットの半量として下さい

追肥時期	窒素量	肥料名（例）	1回あたりの施用量	
			箱あたり	坪あたり
・ 1.5葉期 ・ 2.5葉期 の計2回	1.0 g / 箱 (追肥1回 あたり)	NP化成57	7 g	120 g
		硫 安	5 g	90 g
		苗床液肥	100倍液を0.5ℓ	100倍液を9ℓ

(3) 早期異常出穂対策

早期異常出穂は2.5葉期以降に25℃以上の高温にさらされると発生が助長され、特に早生品種で発生しやすくなります。**高温となりやすい育苗後半の温度管理には、特に注意しましょう！！**

(4) 健苗の移植を！

適切なハウス管理により目標の苗質を満たした健苗の移植を目指しましょう（表2）！！

表2 移植時の目標苗質

	品種	成苗ポット	中苗マット
目標葉数	ななつぼし	3.6~4.0葉	3.1~3.5葉
	ゆめぴりか	3.6~4.3葉	
	風の子もち	3.6葉~	
	きたゆきもち		
	きたふくもち		
草丈	-	10~13cm	10~12cm
育苗日数	30~35日		

3 本田準備

- (1) 入水後の漏水防止や深水管理のために、畦塗りや畦畔の補修を行いましょ。
- (2) 極力ほ場が乾燥してから耕起作業を行いましょ。
- (3) 耕起後に施肥した後はできるだけ速やかに混和・たん水を行い肥料の流亡を抑えましょ（施肥後10~14日で流亡が始まります）。

4 移植・本田水管理

- (1) 移植作業は低温・強風日は作業を見送り、気象条件の良い日に移植を行いましょ。
- (2) 活着・分けつ促進のために**植付深は1.5~2.0cm**を目安に移植しましょ。
- (3) 移植後は速やかに入水し、以降は**気象条件に応じて水深を調整**しましょ（表3）。
- (4) 除草剤散布後の止め水は7日間保ち、河川への流出を防ぎましょ。

表3 移植後の水深の目安

	移植直後	移植直後~活着まで		活着後
天候	-	高温・晴天	低温・曇天・強風	高温・晴天
水深	4~6cm (苗丈の1/2)	2~3cm (浅水)	7~10cm (草丈の3/4)	3~4cm (浅水)
備考	やや深水で管理	浅水で活着・分けつを促進	深水で低温・強風から苗を保護	高温・晴天日は浅水で分けつを促進
	日中は止め水にし、入水は夜間か早朝に行う			

計画的に余裕をもって農作業を行い、事故・けがに注意しましょ！！